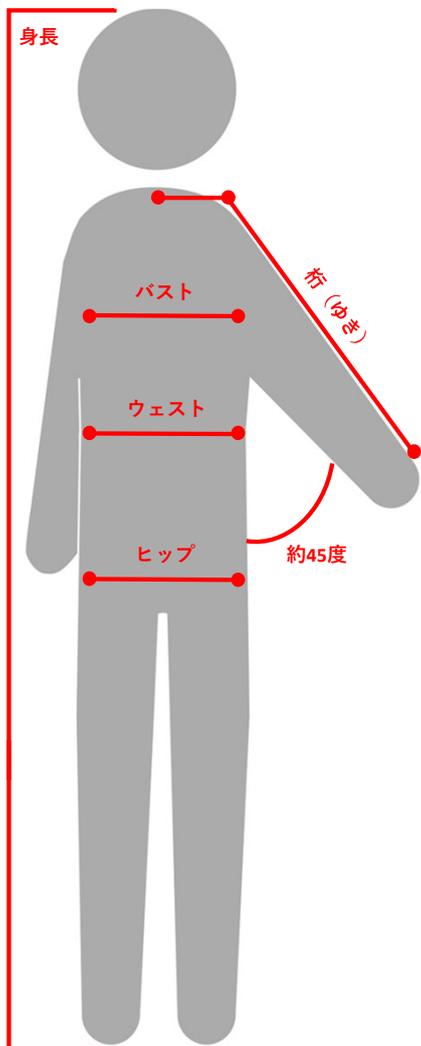


きもの採寸方法

お仕立て上がりにご満足いただくため、ご寸法の採寸方法の目安をご案内いたします。



基本情報

身長、体重、バスト、ウェスト、ヒップをそれぞれはかります。

寸法の割り出し方・測り方

身丈	男性：直立してうなじの骨の突起から、踵の中央部分までを直線で測ります。 女性：身長がそのまま身丈となるのが一般的です。
衿 (ゆき)	45度まで手を水平に上げ、背中央からくるぶしまでを肩山に沿ってまっすぐ測ります。
袖付け	<目安> 帯の位置の高い人・背の低い人 21cm (5寸5分) 帯の位置の低い人・背の高い人・年配の人・太った人 24cm (6寸3分)
袖巾	衿から肩幅を引いた長さです。
袖丈	好みによってサイズを指定する事ができます。 一般的な目安は身長160cm前後の方で49cm(1尺3寸)です。この寸法を基準として5分~1寸程で調整します。
衿肩明き	<目安> 首の付け根寸法×4分の1
繰り越し	<目安> 肩に厚みのある人・いかり肩の人 3~4cm (8分~1寸)
肩幅	<目安> 後巾+2cm (5分)
後巾	<目安> ヒップ寸法×4分の1+6~8cm (1寸6分~2寸1分)
前巾	<目安> ヒップ寸法×4分の1+2cm (5分)
合襷巾 (あいづまはば)	衿の縫い付けからすぐ下の衿の幅の長さで、衿先・剣先の衿付け止まりまでの位置で図る衿の横幅の寸法の事です。 標準寸法では3寸8分 (約1.5cm) とされています。
抱き巾	<目安> 前巾-2cm (5分) (胸巾のある人は前巾と同寸)
衿下	前身頃の衿先から裾までの直線距離の事です。 <目安> 身長×2分の1+2~4cm (5分~1寸)
長襦袢丈	首の付け根からくるぶしまでを測ります。

お仕立ての際の寸法について

お持ちのお着物に合わせて作る場合は、お分かりになる寸法をお知らせください。採寸が分からない方は、上記を参考に採寸してください。採寸が難しい場合は、身長・バスト・ヒップ・ゆき・袖丈をお知らせ頂ければ、細部は当方にて割り出しをさせていただきます。表記はcm・寸どちらでも結構です。尚、ご来店頂いての採寸も可能です。ご不明な点は遠慮なくご相談くださいませ。